

さすらいの旅人・ウイルス

「ウイルス」というと何を思い浮かべますか？現代では、コンピューターウイルスを連想される方も多いかもかもしれません。今回は、生物の病原となるウイルスについて特集します。

地球上には様々な病気が存在し、病原となる物質にも様々なものがあります（塩や砂糖といった食べ物も、摂取する量によっては病気の原因になり得ます）。病気の中でも、人類にとっての脅威といえ、感染症のパンデミック（世界的大流行）ではないでしょうか。

感染症の主な原因としては、カビ（真菌）、細菌、ウイルスが挙げられます。このうち、カビと細菌については様々な抗菌薬（抗生物質等）が存在し、治療が比較的可能なのに対し、ウイルスによる感染症は、ワクチンの予防接種による抗体の獲得以外には打つ手立てがないもの、もしくはワクチンすら存在しないものも多くあります。感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上で、最も警戒レベルが高い“第1類感染症”に分類される6つの感染症の内、5つはウイルスが原因です（表参照）。尚、全てのウイルスが悪さをするわけではありません。園芸用として人気のある花や葉に斑入り模様のある植物は、ウイルス病によるものであり、ウイルスが商品価値を高めることもあるのです。

表. 第1類感染症 ※青字はウイルスが病原

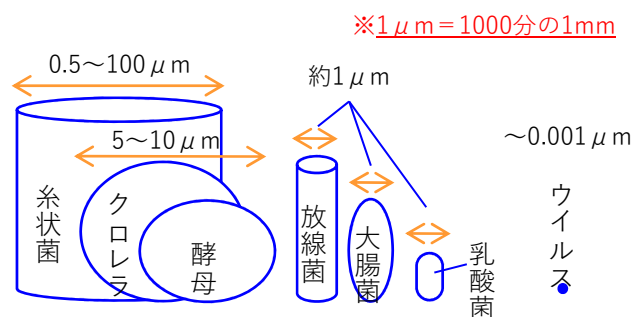
感染症	病原
エボラ出血熱	エボラウイルス
クリミア・コンゴ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱ウイルス
南米出血熱	アレナウイルス科アレナウイルス属のウイルス
ペスト	腸内細菌科に属する通性嫌気性のグラム陰性桿菌
マールブルグ病	マールブルグウイルス
ラッサ熱	ラッサウイルス

ウイルスは、細胞を持たない粒子状の生命体で、DNAかRNAのいずれか1種類の核酸を、タンパク粒子が包んでいる構造をしています。エネルギー生産系の遺伝子情報を持たないため、生きた細胞に寄生し、栄養分を奪って生きています。ウイルスは、宿主が死んでしまうと自分も死んでしまうため、生きるために宿主から宿主へと移っていく必要があります、その様子はさながら生物の細胞から細胞へと旅をするさすらいの旅人のようです。

対ウイルス薬の開発の難しさの要因として、このウイルスが“生きた細胞内”でしか生存できない性質が挙げられます。カビや細菌はシャーレ内の培地で培養して研究できますが、ウイルスは培養が難しく、そのため研究が難しいようです（また、ウイルスは細菌より小さく、電子顕微鏡でないと見えないため、取扱いが難しい：図参照）。

冬は、インフルエンザ等ウイルス性の感染症がはやる時期です。予防接種、うがい手洗い等をしっかり行い、感染症を防ぎましょう。

微生物の大きさの違い（大体）



参考：
国立感染症研究所HP
白田 昭 (2001) 微生物
に学ぶ 工業調査会

製品紹介

スコリテック液剤

少量で効果を発揮・広い散布適期



- 低薬量で効果を発揮します。
- 初春から晩秋まで散布適期幅が広がっています。
- 植物体内での移行性に優れ、地上部・根部の全体を故殺します。
- 土壌中では速やかに分解され、水と二酸化炭素に変化します。

- 有効成分：メコプロップPカリウム塩 56.5%
- 毒性：普通物
- 包装：1L/本、10本入り/ケース

▶夏期高温時・冬期（10℃以下）では使用を避けてください。
▶メコプロップPを含む農薬の総使用回数は3回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生及び多年生 広葉雑草	芝生育期 (雑草生育期)	250~500ml	200L
西洋芝（ブルーグラス）		雑草生育期 (草丈30cm以下)	350~700ml	100~200L
樹木等（公園、堤とう、庭園、 運動場、道路、駐車場、宅地、 のり面、鉄道等）				

トリビュートOD

スズメノヒエ類・チガヤにも



- 有効成分：ホラムスルフロン 2.2%
- 毒性：普通物
- 包装：1L/本、6本入り/ケース

- 春期のスズメノカタビラ、秋期のスズメノヒエ類・チガヤに優れた効果。
- スズメノヒエ類・チガヤ防除では秋期+翌年初夏の処理で効果UP！

▶夏期高温時（25℃以上）の散布は避けてください（日本芝に黄変が生じる場合がある）。
▶ベントグラス、ブルーグラス、ライグラスには薬害を生じるため、飛散しない様注意してください。
▶ホラムスルフロンを含む農薬の総使用回数は3回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草 多年生広葉雑草	春夏期芝生育期 (雑草発生初期～生育期)	200~250ml	100~200L
		秋冬期芝生育期 (雑草発生初期～生育期)	150~250ml	
	スズメノヒエ類 チガヤ	芝生育期（雑草生育期）	200~300ml	
西洋芝 (バミューダグラス)	一年生雑草 多年生広葉雑草	春夏期芝生育期 (雑草発生初期～生育期)	200~250ml	
		秋冬期芝生育期 (雑草発生初期～生育期)	150~250ml	

ディクトラン乳剤

低薬量×残効性＝省力化



- 有効成分：ジチオピル 32.0%
- 毒性：普通物
- 包装：500ml/本、10本入り/ケース

- 土壌に処理層を形成し、幼芽・幼根での細胞分裂を阻害します。
- メヒシバに対しては、出芽直後でも効果があります。
- 低い薬量で長い残効性を持ち、春処理で90~120日間、秋処理で120~150日間効果が持続します。
- 使用のタイミングにおける対象雑草の種類や要防除期間に合わせて薬量を調節して使用できます。

▶ジチオピルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生雑草	雑草発生前	150~300ml	200~300L
	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前	75~150ml	

取扱い・お問合せは—



〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968